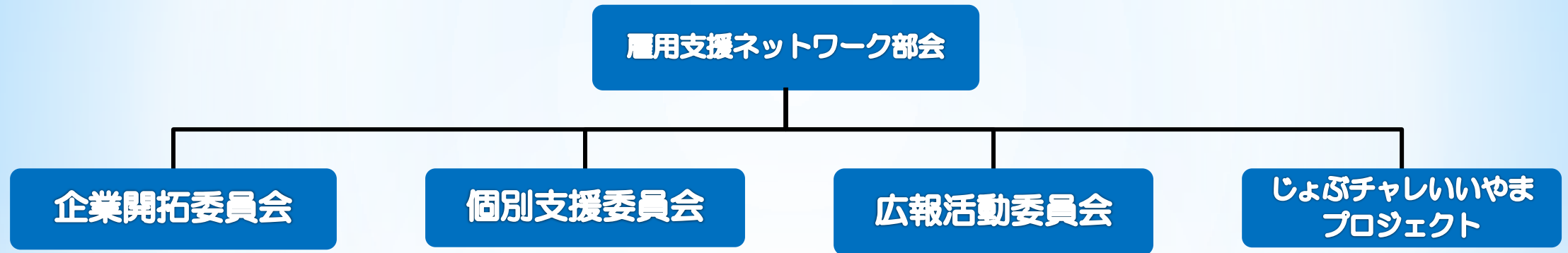


*雇用支援ネットワーク部会



〔目的〕

障がい者の企業への就職と職場定着をより一層進めるための関係機関における連携協力体制の構築を目指す。

〔活動内容〕

- 各委員会、プロジェクトの活動を整合性をとりながら事業を円滑に進めるため、情報共有するとともに検討・調整
- B型事業所等の参加（6事業所）
- 就職者実績報告、障がい者短期トレーニング促進事業報告、OJT推進員派遣事業活動報告 など
- 「じょぶチャレいいやまプロジェクト」の役割を再検証し廃止
→障害者就業・生活支援センター、総合相談支援センターで対応

企業開拓委員会

〔活動の方向性〕

- 関係機関のネットワーク体制の強化、雇用事業主に
対する支援制度・支援体制のわかりやすい紹介

〔活動内容〕

- 企業に向けた部会紹介用のリーフレットを作成
- 「就労場面における合理的配慮について」をテーマに研修会を開催
- 事業所視察（(株)フジすまいるファーム飯山様）

→A型事業所の労働実態、サポート体制の把握

〔次年度に向けて〕

- リーフレットの使用場面が明確でなかったため使用されることが少なかった
ことから、関係者にリーフレット作成の経緯を丁寧に説明し活用を促進
- リーフレットのリバイス



障がいのある方が就職するまでの流れ



相談

障がい者雇用って何だろう？
雇用したいけれど、どうしたらよいのか？
どんな仕事ならできるのか？

トレーニング・訓練

求職者は必要に応じて、適切な機関で就職のために必要な会社でのマナーやコミュニケーションのトレーニングを受けることが可能

職場見学

どんな仕事をしている会社なのか求職者が実際に見てイメージする。この機会に求職者の人物を見ることが出来る。

職場体験

働けるのかどうか数日から数週間、実際に仕事をしてもらう。仕事はできるのか、コミュニケーションは取れるのかなどがみえる。給料は発生しない。

※職場体験で仕事をやってみることで、障がいのある方にとっても企業側にとっても不安解消になります。

採用

試行的に雇い入れる制度や作業やコミュニケーション面での支援が受けられる

雇用管理

雇用後も職場を訪問してのサポートなどが受けられる

【関係機関一覧】

飯山公共職業安定所
長野県長野地方事務所商工観光課
長野県北信地方事務所商工観光課
長野県北信保健福祉事務所
長野県飯山養護学校
NPO 法人ぱーむぼいす（飯山市）
農村木島平株式会社
株式会社フジすまいるファーム飯山
まいさぼ中野
まいさぼ飯山
就労継続支援 B 型事業所 中野市ぴあワーク
就労継続支援 B 型事業所 山ノ内町ももの木
就労継続支援 B 型事業所 木島平村つくしの家
マッシュルーム（中野市）
NPO 法人ここから（飯山市）
サービスセンターりんく（飯山市）
のぞみの郷高社（中野市）
多機能型就労支援事業所 ふっくら工房ふるさと
北信圏域障害者総合相談支援センターぱれっと
ほくしん圏域障害者就業・生活支援センター

【お問い合わせ】

北信地域障がい福祉自立支援協議会
雇用支援ネットワーク事務局
ほくしん圏域障害者就業・生活支援センター
TEL&Fax:0269-62-1344
Mail:nakapotu.hokushin-1344@ebony.plala.or.jp



障がいのある方の
就労と、雇用されている企業
さまをサポートします。



協議会ホームページへ



実施主体は、
中野市、飯山市、木島平村、山ノ内町、野沢温泉村、栄村
の6市町村です。

障がい者雇用について不安なことはありますか？

Q.障がい者雇用についてイメージできません？

A.障がいがあっても働くことはできます。内部疾患や手足、目や耳などの障害の身体障害、知的障害、精神障害をお持ちの方が働いています。

参考事例のページ <http://www.ref.jeed.or.jp/>

Q.障がい者雇用を進める必要があるのでしょうか？

A.企業規模によっては法定雇用率達成の義務が生じてくる場合があります。また少子高齢化による労働力の不足、ノーマライゼーションの推進などから、雇用を進める企業も多くあります。

Q.どんな仕事をやってもらえばいいのでしょうか？

A.車いすの方には移動しやすい職場、知的障害の方には定型な仕事、精神障害の方には疲れやすさに配慮できる仕事など一般的な配慮事項はありますが障害状況は一人ひとり異なります。持っているスキルも違いますので、それぞれのスキルに合った仕事を拾い出していただけるとよいと思います。

Q.給料はいくら払えばよいのでしょうか？

A.基本的には一般の方と同じように能力に応じて給料を支払います。

Q.どのように接すればよいのでしょうか？話しかけていいものなのでしょうか？

A.一般の方と同じでよい方もいらっしゃいますが、1つ1つわかりやすくお話しいただいたり、優しい言い方を好まれる方など様々です。また、工夫することでコミュニケーションがとれる方もいます。

Q.どこに相談すればいいですか？

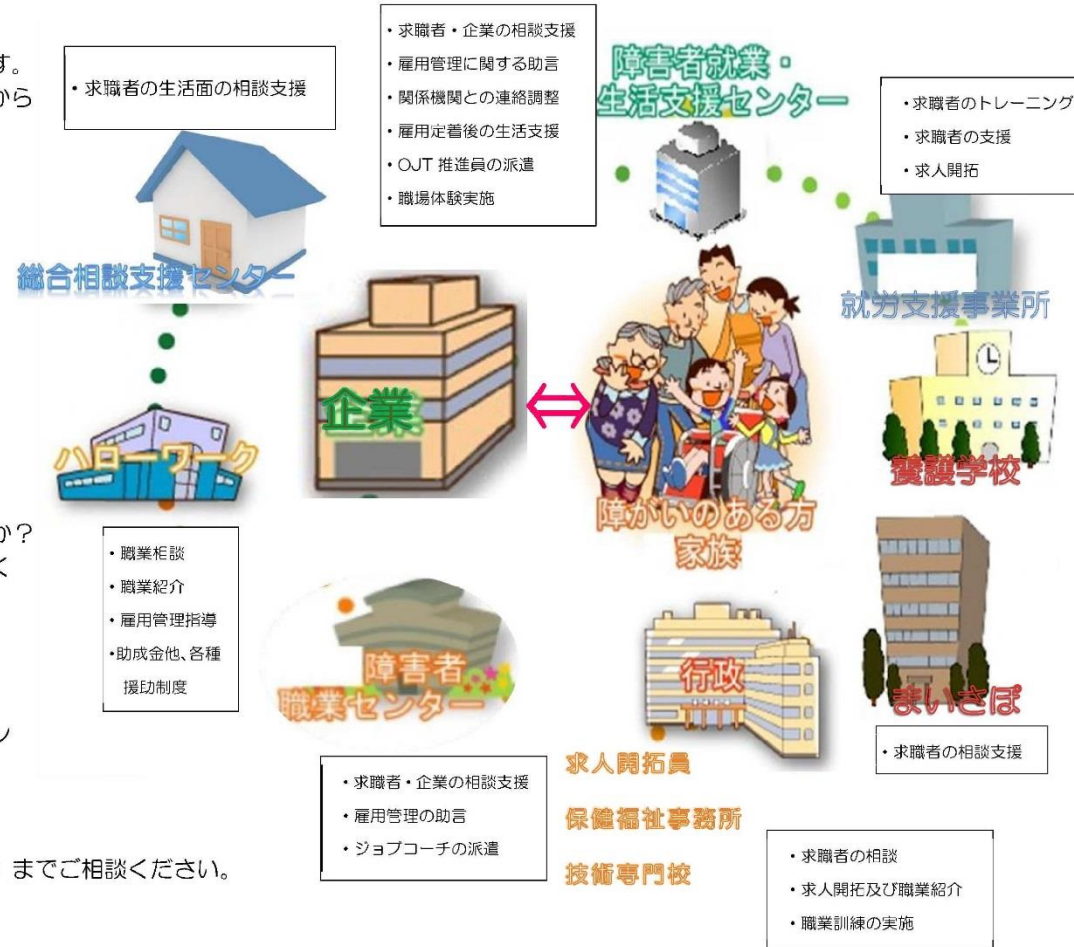
A.「ハローワーク飯山」、または「ほくしん圏域障がい者就業・生活支援センター」までご相談ください。

Q.利用できる制度はありますか？

A.各種助成金制度や、支援制度があります。詳細は「ハローワーク飯山」までご相談ください。

Q.仕事はうまく覚えられますでしょうか？

A.支援制度があります。詳細は「ほくしん圏域障がい者就業・生活支援センター」へご相談下さい。



個別支援委員会

〔活動の方向性〕

- ケース検討をふまえ、個別の課題に対する支援のあり方、就業継続のための各関係機関の役割分担について協議
 - 共通認識、担当者のスキルアップ

〔活動内容〕

- 毎回テーマに沿ったケース検討の実施
 - 「定着支援」、「合理的配慮」、「実習」、「権利擁護」、「求人開拓とマッチング」、「つなぐ」、「意思決定支援」、「離転職が頻回な生活困窮者への支援」
- 求職者・実習状況の共有

〔次年度に向けて〕

- 引き続き、個々のケースから新たなテーマを抽出し、検証



広報活動委員会

〔活動の方向性〕

- ローカル紙2紙への月1回掲載の継続
(北信ローカル・北信濃新聞)

〔活動内容〕

- テーマ「地域で働く障がい者の紹介」
- 取材～編集～原稿作成の手順をルール化
(委員の役割明確化、スケジュール管理、書式作成)
- 記事のホームページへの掲載

〔次年度へ向けて〕

- 言葉・発信の苦手な方への取材のあり方の検討
- 取材マニュアルの作成
- ホームページへの動画掲載
- 構成メンバーの拡大

(3) 2014年(平成26年)6月20日(金曜日) 北信

てんでねっと

連載47回

不安を解消していく為に

今回は、飯山市にある「株式会社マウスコンピューター飯山工場」へ訪問させて頂き、工場長の松本様と社員の小菅さんに広報活動委員が話をうかがいました。

広報委員(以下委員)「障がい者雇用に至ったきっかけを教えてください」

松本工場長(以下工場長)「法的な要求を果たすためでもありましたが、当時この地域でまだ知名度が低かった地域の企業として、何ができるか考え、始まりました」

委員「今では9名の障がいをお持ちの方が活躍されていますが、どんな感想をお持ちですか？」

工場長「みんな素直で明るく、職場ではミスが少なかった。雇用してきて一般の人と大差変わらない事がわかったし、障がいを個性の1つと考えるようになりました」

委員「雇用前の不安はありましたか？」

工場長「とにかく不安でした。言葉では理解していたつもりでしたが、実際に社内で働いてもらうというイメージはゼロでした。そこで、ほろしん職域障がい者就業・生活支援センターの清水ワーカーに当時、全従業員に向けて障がいについての説明をして頂きました。これで私を含め従業員全体の不安が払拭されたかな。それから実習やトライアル雇用を積み重ねていきました。みんな打ち解けられるかどうか心配したが、とてもうまくいきました」

委員「なるほど、最初から障がい者雇用し関連する機関と協力体制を組むんですね」

工場長「正直、今でも雇用の為に社では特別な事は何もしていないんです。採用や働き方に関しても、一般の従業員と同じように受け止めています。ただ、突発的な対応等については就業・生活支援センターのスタッフに協力をお願いしています」

委員「これから障がいのある方の雇用を考えている会社さんに向けて一言お願いできますか？」

工場長「不安があるようなら、障がい者を雇用している会社の現場を一度見学してみても良いですね。できたらそこから始めてみるが良いです。当社も障がい者雇用のすべてを担う事は怖ろしいかな。全部を背負おうとする、関係機関を活用して協働体制をとっていく事が大切だと思います」

今回は、御マウスコンピューターでお勤めの小菅さんのインタビューをお伝えします。
(広報活動委員会 海野大介)



株式会社マウスコンピューター 飯山工場

種	パーソナルコンピュータ及び周辺機器の開発、製造、それに付随する一切の事業
従業員数	140名(飯山工場)
障がい者雇用状況	9名=知的(重度判定あり)2名、精神、身体
作業内容	梱包・組み立てを中心1人ひとりの適正に合わせて各セクションに配属